

令和5年度 玉諸小学校の多忙化改善に向けた計画

学校現場が抱える広範で膨大な職務や諸課題により、教員の多忙化が注目されています。教員が子供と直接関わる時間が大幅に少なくなっている現状を改善すべく、教育委員会の指導の下、各校で設定した「多忙化改善計画」に基づき、わずかずつでも教員が時間的にも精神的にもゆとりをもって子供と向き合えるようにしていきたいと考えております。子供一人一人と接する機会が増すことにより、教員としての本来的な責務を果たし、教育の質を高めることに繋がるものと確信しております。つきましては、保護者の皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。

No.	項目	現状と課題	① R5年度に実施する内容 ② R6年度に向けて検討する内容
1	会議等の効率化	提案時間の削減・掲示板等の導入による会議の削減に取り組んできた。さらにポイントをしばった提案による会議の効率化をめざす。	① 会議の短縮を図るため、資料は事前配布とし、事前に確認しておく。分かりやすくポイントをしばった提案に努める。電子掲示板の活用により連絡などの周知徹底の効率化を図る。 ② 令和5年度の実践から得た課題の解決に取り組む。
2	学校行事の負担軽減	コロナ禍で、行事の見直し精選に取り組んできた。今後は、行事の運営を再検証し、内容と方法の工夫を図りたい。	① 学校行事の運営について内容を検討し、効率化を図る ② 令和5年度の実践から得た課題の解決に取り組む。
3	校内組織の見直し	分掌間の連携による業務の削減と各組織の改編を行ってきた。各組織が期待する教育的効果に向け有効に機能しているか検証し、改善を図る。	① 業務量の多い校務分掌は、役割分担をする中で、個々の仕事量を減らし、負担の軽減を図る。 ② 校務分掌等でメンター制度を活用するなどし、若手教員の人材が育つ土台作りをする。
4	業務の効率化	大規模校のため、業務を効率的に遂行するためには、全職員の情報共有が必要である。	① 教材及び分掌業務の電子データの共有化、オンライン会議の設定と会議の短縮化に引き続き取り組む。 ② 校外からの各種応募、参加要請等のさらなる見直しをする。各種連携事業の有効性を見直しをする。
5	部活動の負担軽減		
6	地域人材の活用	地域人材の活用が十分ではなく、リストも整備されていない。	① 地域の教員OB等のボランティアを募り、適材を適所をお願いする形で有効活用し、教職員の負担を軽減しつつ、児童への指導を手厚くする。 ② 学校運営協議会の機能化を図り、地域ボランティアの組織化とスリム化を図る。
7	(学校独自の項目)	職員の退勤時間が遅い傾向にある。休日出勤をして、仕事をする職員もいる。	① 定時退勤日を設定し、設定日は18:00を目指して退勤する。管理職も率先して退勤を促す。 ② これまでの取り組みをもとに、成果と課題を明確にし、R6年度以降の取り組みに生かす。
8	(学校独自の項目)	PTA活動の内容について見直しが不十分である。	① 活動内容を見直し、教職員の負担軽減を図る。 ② 令和4年度の実践から得た課題の解決に取り組む。